

令和5年度 学校運営教職員自己評価（教職員向け自己評価）

令和6年2月1日 大多喜町立西小学校

☆評価は、前期（10月）と後期（2月）に行います。項目は、東上総教育事務所学校経営自己診断票、本校学校経営の概要および重点目標具体的方策、校長の資質向上に関する指標（千葉県・千葉市）を参考に作成しました。  
 ☆評定は、4（到達している）・3（ほぼ到達している）・2（あまり到達していない）・1（到達していない）で行いました。

	自己評価項目	10月	前期後期の比較	2月
1	学校教育目標達成に向けて取り組んでいる	3. 2		3. 2
2	目標申告シートを活用し、今年の自己目標達成に努めている	3. 1		3. 3
3	心と体の健康管理を意識し、取り組んでいる（メンタルヘルス）	3. 0		3. 2
4	勤務時間を意識し、子供と向き合う時間を確保している（働き方改革）	2. 5		3. 0
5	報連相を意識し、管理職に話し、相談している（風通しのよい職場）	3. 3		3. 7
6	管理職が教室や様子を見に来たり話したりすることで、授業改善、分掌、行事改善等に活かしている。（人事評価）	3. 2		3. 3
7	「セクハラ、不祥事はおこさない」意識をもち、（声をかけている）	3. 8		3. 8
8	子供のよいところを見つけ、一人一人を認め、励ましている	3. 3		3. 6
9	日々の教育活動を通して、子供の命と健康を守っている	3. 5		3. 5
10	自己研鑽に努め、わかる・できる授業づくりをしている	2. 8		3. 3
11	チーム学校の一員として、互いに連携、協力している（同僚性）	3. 2		3. 5
12	道徳教育の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	2. 8		3. 0
13	特別活動の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	2. 9		3. 0
14	生徒指導の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	3. 2		3. 3
15	教育的ニーズ（合理的配慮）に対応した特別支援教育の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	3. 2		3. 5
16	健康保持増進、体力向上、安全教育の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	3. 3		3. 5
17	キャリア教育の充実（工夫・改善）に向けて取り組んでいる	2. 6		2. 9
18	I C Tを活用とプログラミング境域の推進に取り組んでいる	2. 8		2. 9
19	教育環境の整備とその活用に努め、地域と連携した安心・安全な学校づくりに取り組んでいる	2. 9		3. 3
20	近隣の保育園、大多喜小中学校、三育学院、大多喜高校等（県立いすみ特別支援学校）との連携を深め、交流教育に取り組んでいる	3. 0		3. 2
21	学校評価を教育活動の改善に役立て、保護者、地域から信頼される開かれた学校づくりを意識して取り組んでいる	3. 2		3. 5
22	今年から、学校行事、授業の様子、休み時間の様子や各種たよりなどの「学校の様子」を積極的にHPで発信することは、保護者、地域から信頼される開かれた学校づくりにいかされている	3. 5		3. 6